



このたびの東北地方太平洋沖地震で被害に逢われた皆様に、心よりお見舞いとお悔やみを申し上げます。

私たちワールドキャンパスインターナショナルのプログラムへの過去の参加者やその友人知人からも、日本の友人や“家族”（ホストファミリー）の安否を心配する声や日本の復旧への支援の申し出が毎日相次いで寄せられています。

市民セクターなども含めた被災地への支援が本格化する一方で、日本政府は原子力発電所事故の深刻化を防ぐために全力を挙げていますが、現時点でも予断を許さない状況にあります。ワールドキャンパスインターナショナルとしても、参加者を含む全関係者の安全性の確保を最優先に配慮する立場で事態の推移を注視しております。今夏のプログラム実施に関する判断についても、引き続き各地の関係各位との認識共有を基本として検討して参る所存です。

私たちワールドキャンパスインターナショナルとしましても、通常プログラムのみならず、被災者の皆様への支援、被災地ならびに日本の一日も早い復旧への貢献に対して、海外とのネットワークなど、私たちにできることを総動員して参りたいと考えております。今後2~3週間の最新情報を踏まえた方針をお伝えして参りますので、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

平成 23 年 3 月 22 日

特定非営利活動法人
ワールドキャンパスインターナショナル
理事長 西村紀公